

令和4年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	道路維持補修事業						
総合計画 重点施策	都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	管理課

事業目的・概要
<p>【事業目的】 市道及び道路附属施設等の維持、補修により、道路利用者の安全と地域住民にとって快適で安心なまちづくりの推進を図る</p> <p>【事業概要】 市道の舗装、側溝、安全施設、区画線等の補修など生活道路の改善を行っていく。 定期的に月2回、3班に分けて道路パトロールを実施するとともに、庁内イントラを利用し、毎月1日に道路異状箇所の報告を促すなど、市職員の生活道路に対する意識を高め、適切な維持管理を行う。</p>

成果指標	単位	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (目標)	R6 (目標)
補修処理率	%	98	96	96	96
パトロール実施回数(月2回)	回	24	24	24	24

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
通年による維持補修 ・補修実施箇所の完了 (令和4年4月～令和5年3月) 道路パトロールの実施(月2回) (令和4年4月～令和5年3月) 計画的維持管理 取手駅西口及び藤代駅自由通路エスカレーター 補修工事 (令和4年6月 起工～令和5年3月完成) 橋梁及び横断歩道橋の補修工事(4橋) (令和5年3月完成)	通年による維持補修 補修実施箇所(令和5年3月末) 確認件数: 867件 処理件数: 829件 道路パトロールの実施 24回 取手市内を5地区に分け、3班に分かれて実施。 計画的維持補修 藤代駅自由通路エレベーター修繕 (令和5年3月完成) 藤代駅自由通路及び取手駅西口広場エスカレーター補修工事 (令和5年3月完成) 毛有第6号橋補修工事(令和5年3月完成) 山王第10号橋補修工事(令和5年3月完成) 取手駅西口デッキ橋補修工事(令和4年5月完成) 戸頭横断歩道橋補修工事(令和5年3月完成)	A (予定どおり 進んでいる)

今後の方向性	
継続	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も補修要望については迅速に対応していく。 ・日常のパトロールに加え、月2回の定期道路パトロール道路を実施して監視体制の強化を図る。 ・市職員への周知徹底を図り、道路等の補修箇所の早期発見に務める。

事業費(単位:千円)	R3(実績)	R4(実績)	R5(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金	34,871	52,201	70,621	昨年度に比べ、公共施設等適正管理推進事業債や緊急自然災害防止対策債など活用し、また年度計画による橋梁及び横断歩道橋の補修工事など実施した結果、85,924千円の増額となった。
	県支出金				
	地方債	41,800	96,800	63,400	
	その他	33,588	30,599	25,018	
	一般財源	212,992	229,575	197,063	
事業費計(A)	323,251	409,175	356,102	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	7	7	5	
	業務時間	13,440	13,440	9,600	
	その他職員人件費	9,142	8,424	11,606	
人件費計(B)	51,760	50,988	42,249		
トータルコスト(A+B)	375,011	460,163	398,351		

令和4年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	道路等管理業務						
総合計画 重点施策	—	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	管理課

事業目的・概要

<p>事業目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の財産である道路・河川等を適正に管理することにより、信頼ある行政運営を図る <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道の道路施設(橋梁、防犯灯、街路樹など)の維持管理を行う。 ・市道の新設、改良等に伴い、市道路線の認定廃止手続を行い、道路台帳の補正を実施する。 ・境界査定未確定の区域(市道、法定外)について境界立会いを実施する。 ・道路占用、法定外占用の許可事務を行う。 ・茨城県道路整備促進協議会等の各協議会へ参画し、国・県へ道路施設整備促進の要望を行う。

成果指標	単位	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (目標)	R6 (目標)
橋梁及び横断歩道定期点検	橋	45	62	33	20

事業スケジュール(当初) 進捗状況 進捗度

<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁定期点検の実施(62橋) (6月起工～3月完了) ・橋梁長寿命化対策事業の修正設計 (6月起工～3月完了) ・防犯灯の維持管理及び新設 (4月施工～3月完了) ・道路施設(側溝・街路樹)の維持管理 (5月起工～2月末完了) ・道路用地(草刈)の維持管理 (5月起工～2月末完了) 	<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁長寿命化計画修正業務委託 (令和5年3月完了) ・橋梁定期点検業務委託(令和5年3月完了) ・防犯灯の新規設置数(42基) ・街路樹剪定などの維持管理 4単市第2-1号主要道路等街路樹管理業務委託 ほか7本 (令和5年2月完了) ・道路用地(草刈)の維持管理 4単市第1-1号 道路除草業務委託 ほか6本 (令和4年12月完了) 	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>
--	---	--------------------------------

今後の方向性

継続	引き続き、適切で計画的な維持管理を行う。
----	----------------------

事業費(単位:千円)	R3(実績)	R4(実績)	R5(見込)	事業費増減理由			
事業費	国庫支出金	26,770	17,847	20,020	年度ごとの橋梁長寿命化計画の見直しにより、昨年度に比べ、16,520千円減額となった。		
	県支出金						
	地方債	22,800	0	4,500			
	その他	3,984	6,285	6,662			
	一般財源	26,727	39,630	26,204			
事業費計(A)				80,281	63,762	57,386	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	8	7	8	・取手市公共施設の里親制度実施要領を活用し、取手市道に設けられた植樹帯の維持管理を実施している。引き続き、里親制度により環境美化等に対する市民意識の高揚を図り、美しき住みよいまちづくりを推進する。		
	業務時間	14,592	12,672	14,592			
	その他職員人件費	13,534	14,013	17,306			
人件費計(B)				59,805		54,145	63,884
トータルコスト(A+B)				140,086		117,907	121,270

令和4年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	地籍調査事業						
総合計画 重点施策	—	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	管理課

事業目的・概要
<p>【事業目的】 地籍調査を行うことにより、土地の正しい位置、境界、地番、地目、面積の明確化を図る。</p> <p>【事業概要】 国土調査法に基づき、地籍の明確化を図るために一筆毎の土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び地積に関する測量を行い、その結果に基づき地図及び簿冊を作成する事業である。これらの成果は、法務局に送付されると登記簿の記載が改められ、固定資産税の課税など、様々な分野で活用されることとなる。</p>

成果指標	単位	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (目標)	R6 (目標)
地籍調査新規地区の面積	ha	7	13	18	18
地籍調査新規地区の総筆数	筆	586	743	854	850
地籍調査事業の進捗率 ※1	%	15.8	16.0	16.3	16.6

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<ul style="list-style-type: none"> ・白山Ⅲ地区(令和4年度着手) <ul style="list-style-type: none"> 5月 地籍調査推進委員委嘱 6月 調査対象者への資料送付 7月～8月 長狭物調査 9月～11月 一筆地調査 12月～3月 地籍測量 ・白山Ⅱ地区(令和3年度着手) <ul style="list-style-type: none"> 1月 地籍成果の閲覧 ・白山Ⅰ地区(令和2年度着手) <ul style="list-style-type: none"> 7月 地籍成果の認証請求 10月 地籍成果の法務局送付 	<p>新規地区である白山Ⅲ地区(白山三丁目、白山四丁目及び白山六丁目の一部)は、市の中心市街地に隣接する地域で、筆数・地権者数ともに多い地区であったが、地籍調査推進委員の方々や関係地権者の地籍調査事業に対する理解、協力により調査及び測量を予定通り実施した。また、2年目の白山Ⅱ地区及び3年目の白山Ⅰ地区についても予定通り実施した。</p> <p>○本市の調査実施済面積 962ha(令和4年度末現在) ※2 〃 調査対象面積 6,002ha</p> <p>※1 地籍調査事業の進捗率＝調査実施済面積/調査対象面積 ※2 本市の調査実施済面積には国土調査法第19条第5項の指定及び法務局が実施した登記所備付地図作成作業の面積を含む。(国土調査法第19条第5項の指定とは地籍調査以外の事業(土地区画整理事業等)により地籍調査の成果と同等以上の精度・正確さを有する場合、この成果を地籍調査の成果と同一の効果があるものとして指定すること。)</p>	A (予定どおり 進んでいる)

今後の方向性	
継続	地籍調査事業は息の長い事業であるが、事業の重要性や必要性は高く、着実に事業を進めて行かなければならない。

事業費(単位:千円)	R3(実績)	R4(実績)	R5(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金				令和4年度新規地区は令和3年度地区より面積が大きいため、事業費が増となった。新規地区は、地番区域(大字)、面積及び筆数等を総合的に判断して決めており、年度によって面積や筆数変動する。
	県支出金	9,150	12,075	16,323	
	地方債				
	その他				
	一般財源	7,004	6,077	9,194	
事業費計(A)	16,154	18,152	25,517	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	4	4	4	調査地区内の市政協力員及び当該市政協力員の推薦を受けた調査地区内に居住し、土地に関して識見を有するものを地籍調査推進委員として市長が委嘱し、調査業務への協力を得て、地籍調査の円滑な推進を図る。
	業務時間	7,680	7,680	7,296	
	その他職員人件費				
人件費計(B)	24,353	24,323	23,289		
トータルコスト(A+B)	40,507	42,475	48,806		

令和4年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	市営住宅管理運営事業						
総合計画 重点施策	—	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	管理課

事業目的・概要
<p>【事業目的】 住宅に困窮する低所得者に対し、低家賃の公営住宅を提供するとともに、市営住宅の維持管理や統廃合等の更新コストの縮減を図りつつ、入居者に対し良好な住居環境の維持を図る。</p> <p>【事業概要】 市営住宅の維持管理及び修繕と運営を行う。 入居者募集を居室の整備が整い次第、随時募集を実施していく。 未収となっている家賃滞納者に対して納付指導を行う。 市営住宅、また市営住宅以外の公的賃貸住宅等の活用や情報提供を促進する。</p>

成果指標	単位	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (目標)	R6 (目標)
家賃収納率(現年度)	%	98.5	99.2	97.0	97.0
入居用修繕戸数	戸	1	0	2	2

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<p>○ 家賃収納率 毎月、未納者に対して督促状・未納通知書発送。</p> <p>○ 募集戸数 入居者に対し良好な住環境の確保のため部屋の修繕等を行いながら、入居者募集を定期の9月、また1月以降は随時募集として実施する。</p>	<p>○ 家賃収納率 毎月の督促状の発送、電話・戸別訪問により、未納者に対してきめ細やかな納付指導を行ったことにより、目標値を上回る結果となった。</p> <p>○ 募集戸数 入居募集用の部屋の修繕を行い、9月および1月以降随時募集を行った。</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

今後の方向性	
継続	継続して適切で計画的な維持管理を行うとともに、未収債権についても継続的に調査を行い、債権管理条例に基づいて適正な対応を行っていく。

事業費(単位:千円)	R3(実績)	R4(実績)	R5(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金	22,146			令和3年度には、社会資本整備総合交付金の補助による市営住宅の耐久性向上を図る整備を行ったが、令和4年度には実施していないため減額となっている。
	県支出金				
	地方債	42,400	5,600		
	その他	19,140	20,670	20,465	
	一般財源	1,883	0	3,753	
事業費計(A)	85,569	26,270	24,218	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	2	2	2	
	業務時間	3,840	3,840	3,840	
	その他職員人件費				
人件費計(B)	12,177	12,161	12,257		
トータルコスト(A+B)	97,746	38,431	36,475		

令和4年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	道路改良・整備事業（稲道路改良事業）						
総合計画 重点施策	都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	道路建設課

事業目的・概要
<p>当該箇所は、取手西小の通学路となっており、通学路整備事業を行った際、用地買収した土地である。買収時は地山で、前所有者が法面下を矢板で補強している状態であった為、通学路整備工事の際には手を加えなかった。</p> <p>通学路整備事業完了後、管理課に移管となり、管理課にて維持管理(除草等)を行っているが、今回法面上部から崩れてきていることが判明し、法面のすぐ上には民家があることから、早急な法面对策を実施するものである。</p>

成果指標	単位	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (目標)	R6 (目標)
年度事業進捗度	%	100	100	-	-

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
全体計画 L=20m 令和3年度 路線測量・地質調査・詳細設計 令和4年度 工事【事業完了】	令和4年7月～令和4年11月 法面对策工事実施 L=20m 【事業完了】	A (予定どおり 進んでいる)

今後の方向性	
事業完了	

事業費(単位:千円)	R3(実績)	R4(実績)	R5(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金			令和3年9月補正にて予算確保し、事業を開始。測量調査設計を令和4年度に繰越し、委託完了後工事を発注、完成させたことにより、令和4年度に全事業費が計上となっている。
	県支出金			
	地方債		16,300	
	その他			
	一般財源		145	
事業費計(A)	0	16,445	0	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	2	2	
	業務時間	500	500	
	その他職員人件費			
人件費計(B)	1,586	1,584	0	
トータルコスト(A+B)	1,586	18,029	0	

令和4年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	道路改良・整備事業（山王通学路整備事業）						
総合計画 重点施策	都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	道路建設課

事業目的・概要
<p>山王小学校及び藤代中学校の通学路となっているが、県道守谷藤代線から県道取手つくば線及び県道常総取手線への抜け道となっており、朝夕のラッシュ時には、主に自動車が多く通過しているため、通学児童・生徒と車両が輻輳し、非常に危険な状況となっていることから、安全対策施設整備を実施する。</p>

成果指標	単位	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (目標)	R6 (目標)
年度事業進捗度	%	100	20	100	-

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
全体計画 L=2,750m 平成28年度 路線測量・地質調査・詳細設計・用地測量 平成29年度 用地補償・路線測量・地質調査・詳細設計工事・電柱移設 平成30年度 路線測量・地質調査・詳細設計・工事電柱移設 令和元年度 不動産鑑定・路線測量・地質調査土地評価・工事 令和2年度 詳細設計・電柱移設・工事 令和3年度 不動産鑑定・土地評価・用地補償・工事電柱移設 令和4年度 工事 令和5年度 工事【事業完了】	令和4年8月～令和5年3月 安全対策施設整備工事実施 L=120m 施工業者の不測の事態により、契約解除となり、工事を完了させることができなかった。 フォローアップ工事として新規工事を発注し、用水の通水に合わせ必要な工事を実施、また通学路としての安全も確保することができた。	B (概ね予定どおり進んでいる)

今後の方向性	
継続	令和5年度は、通学児童・生徒が安全に通学できるように、安全対策施設整備を実施し、事業を完成させる。

事業費(単位:千円)		R3(実績)	R4(実績)	R5(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金	19,361	3,460	22,000	施工業者との契約解除により、工事が予定どおり進められなかったことから、事業費が減となっている。
	県支出金				
	地方債	15,000	2,600	17,100	
	その他				
	一般財源	887	9,284	11,360	
事業費計(A)		35,248	15,344	50,460	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	2	2	2	
	業務時間	500	500	500	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		1,586	1,584	1,596	
トータルコスト(A+B)		36,834	16,928	52,056	

令和4年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	道路改良・整備事業（米ノ井弁才天道路改良事業）						
総合計画 重点施策	都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	道路建設課

事業目的・概要
<p>当該道路は、国道294号線からグリーンスポーツセンターと救急病院へのアクセス道路となっているが、一部区間の幅員が非常に狭いことから、交互通行ができず危険な状況となっている。</p> <p>また、救急病院へ患者を搬送する救急車も通行しており、地元市政協力員から早期の改良要望が出ている路線である。車両の安全で円滑な通行を確保する為、整備を実施するものである。</p>

成果指標	単位	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (目標)	R6 (目標)
年度事業進捗度	%	100	100	100	-

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
整備延長 L=216m 令和元年度 路線用地測量・地質調査 令和2年度 地質調査・詳細設計 令和3年度 用地測量 令和4年度 不動産鑑定・用地補償 令和5年度 電柱移設・工事【事業完了】	令和4年度は、地権者1名からの用地買収(A=285㎡)が完了し、令和5年度に道路改良工事を実施できることとなった。	A (予定どおり 進んでいる)

今後の方向性	
継続	令和5年度は、安全で円滑な道路環境を構築するため、工事を実施する。

事業費(単位:千円)		R3(実績)	R4(実績)	R5(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				委託業務と用地取得業務で予算に違いが出ている。
	県支出金				
	地方債	2,900	2,500	150,100	
	その他				
	一般財源	367	302	7,909	
事業費計(A)		3,267	2,802	158,009	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	2	2	2	
	業務時間	500	500	500	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		1,586	1,584	1,596	
トータルコスト(A+B)		4,853	4,386	159,605	

令和4年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	道路改良・整備事業（井野団地外周道路改良事業）					
総合計画 重点施策	都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課 道路建設課

事業目的・概要
<p>井野団地外周道路を団地内循環バスが走行しているが、既存の道路はバスの重量に耐えられる舗装構成となっていない為、舗装が激しく破損している状況である。 近隣住宅への振動被害が出ており、多々苦情が出ていることから、根本的に改良する整備が必要である。</p>

成果指標	単位	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (目標)	R6 (目標)
年度事業進捗度	%	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
全体計画 L=1,890m 平成30年度 路線測量・地盤調査 令和元年度 詳細設計 令和3年度 工事(1工区) L=210m 令和4年度 工事(2工区) L=314m 令和5年度 工事(3工区) 令和6年度 工事(4工区) 令和7年度 工事(5工区) 令和8年度 工事(6工区) 令和9年度 工事(7工区) 【事業完了】	令和4年6月～令和5年5月 道路改良工事(2工区)実施 L=314m	A (予定どおり 進んでいる)

今後の方向性	
継続	安全で快適な道路整備を推進する。

事業費(単位:千円)	R3(実績)	R4(実績)	R5(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金			令和3年度工事を繰り越したことによる増及び令和4年度工事は整備区間延長が長くなったことにより、事業費が増となっている。	
	県支出金				
	地方債	26,700	91,000		141,200
	その他				
	一般財源	1,410	4,860		7,520
事業費計(A)	28,110	95,860	148,720	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	2	2	2	
	業務時間	500	500	500	
	その他職員人件費				
人件費計(B)	1,586	1,584	1,596		
トータルコスト(A+B)	29,696	97,444	150,316		

令和4年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	雨水排水対策事業（稲雨水幹線事業の推進）						
総合計画 重点施策	都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	排水対策課

事業目的・概要
<p>【事業目的】 中央タウンは、大規模開発により整備済み箇所であるが、周辺の宅地化に伴い雨水流出量が増大し、特に西二丁目地内の市道1-2548号線に道路冠水が多発し、通行に支障を及ぼす状況であるため、雨水排水施設を整備するものである。</p> <p>【事業概要】 全体計画 路線延長≒686m U字溝布設(両側) L≒427m 舗装(歩道部及び車道部) L≒686m</p>

成果指標	単位	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (目標)	R6 (目標)
排水整備率(整備事業費/総事業費)	%	15	42	100	

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度 基本設計 ・令和2年度 実施設計 ・令和3年度 雨水排水工事(U字溝、L≒264m)(令和4年度へ繰越) ・令和4年度 雨水排水工事(U字溝、L≒509m)(令和5年度へ繰越) ・令和5年度 舗装工事(A≒6,480m²) 	<p>令和4年度については、令和4年6月21日に工事請負契約を締結し、雨水排水工事を実施した。当初設計と上下水道の占用位置に差異が生じ、切り回しに伴う関係機関との協議に不測の日数を要したことから令和5年度への繰越工事となった。工事の完成は、令和5年5月末を予定している。</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

今後の方向性	
継続	令和元年度に基本設計を実施し、令和2年度に詳細設計にて工事発注に必要な図面等の作成を実施した。工事は、令和3年度から令和4年度の2箇年で雨水排水整備及び歩道部舗装を実施し、令和5年度に歩道部及び車道部の舗装工事を実施し、事業完了予定である。

事業費(単位:千円)	R3(実績)	R4(実績)	R5(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金				令和4年度は前年度からの繰越に伴い、事業費が増額となっている。
	県支出金				
	地方債	12,400	42,200	90,900	
	その他				
	一般財源	700	2,301	4,905	
事業費計(A)	13,100	44,501	95,805	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	2	3	4	
	業務時間	1,200	1,200	1,200	
	その他職員人件費				
人件費計(B)	3,805	3,800	3,830		
トータルコスト(A+B)	16,905	48,301	99,635		

令和4年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	雨水排水対策事業（樋管維持管理事業の推進）						
総合計画 重点施策	都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	排水対策課

事業目的・概要
<p>【事業目的】 樋管・機場の維持管理、修繕を実施し、浸水の被害から市民を守り、快適で安心なまちづくりの推進を図る。</p> <p>【事業概要】 雨水を市内の河川（利根川・小貝川）に排除し、浸水の被害から市民生活を守るため、河川への接合点である市所管の「排水樋管」・「樋管ゲート」・「樋管ポンプ」・「排水機場」（計8施設）、国土交通省所管の「樋管ゲート」（計8施設）及び河川増水時に逆流を防止するため、樋管ゲートを閉め切った際の内水排除を目的とした排水機場（計4箇所）、樋管ポンプ（計2箇所）の維持管理を行う。</p>

成果指標	単位	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (目標)	R6 (目標)
排水樋管施設点検箇所数	件	16	16	16	16

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<ul style="list-style-type: none"> ・4月に年間保守点検及び樋管操作業務委託の契約締結。 ・点検の実施(毎月)。 ・河川増水に伴う樋管・機場の操作(随時) ・新町排水機場の自家発電機改修工事 	<p>河川増水時に樋管(利根川13箇所・小貝川3箇所)や排水機場・ポンプ施設(利根川6箇所)の操作を随時依頼し、施設の点検を4～5月・11～3月の渇水時期には月1回、6～10月の出水時期には月2回実施した。また、専門業者には機械類の保守点検業務を委託し、不具合箇所については随時修繕を行った。大規模改修として、新町排水機場の自家発電機の改修工事を実施した。</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

今後の方向性	
継続	市民の人命・財産を守るため、適正な維持管理を行う。

事業費(単位:千円)	R3(実績)	R4(実績)	R5(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金			令和4年度は、新町排水機場の自家発電機を改修したため、事業費が増大している。	
	県支出金				
	地方債		40,000		
	その他	6,007	14,975		1,655
	一般財源	16,467	16,387		14,748
事業費計(A)	22,474	71,362	16,403	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	3	5	樋管の操作を消防団及び個人に依頼しており、今後も継続する。	
	業務時間	2,910	2,976		2,976
	その他職員人件費				
人件費計(B)	9,228	9,425	9,499		
トータルコスト(A+B)	31,702	80,787	25,902		

令和4年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	雨水排水対策事業（排水路維持管理事業の推進）						
総合計画 重点施策	都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	排水対策課

事業目的・概要
<p>【事業目的】 排水施設の維持管理、修繕を実施し、雨水排水対策の充実により浸水及び冠水被害の緩和を目指し、快適で安心なまちづくりの推進を図る。</p> <p>【事業概要】 雨水幹線や既設水路の除草・汚泥浚渫・雑木伐採、雨水調整池の汚泥浚渫、排水ポンプ施設の機械類の点検整備及び修繕を行う。</p>

成果指標	単位	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (目標)	R6 (目標)
ポンプ施設点検件数	件	36	36	36	36

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<ul style="list-style-type: none"> ・4月に年間保守点検 委託の契約締結。 ・年間点検実施。 ・不具合箇所については、随時点検業者と状況確認を行う。 	<p>雨水幹線(39路線)やポンプ施設(36施設64台)・調整池22箇所が機能するように点検・清掃などを随時実施。また、専門業者にポンプ施設の保守点検業務を委託し、不具合箇所について随時修繕を行った。</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

今後の方向性	
継続	道路冠水や浸水被害から市民を守るため、適正な維持管理を行う。

事業費(単位:千円)		R3(実績)	R4(実績)	R5(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				電気料金の高騰及び修繕料の増大により、事業費が増額となっている。
	県支出金				
	地方債	7,200	4,600		
	その他	1,725	890	898	
	一般財源	50,721	57,414	60,858	
事業費計(A)		59,646	62,904	61,756	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	3	5	7	
	業務時間	2,910	2,976	2,976	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		9,228	9,425	9,499	
トータルコスト(A+B)		68,874	72,329	71,255	

令和4年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	雨水排水対策事業（藤代横町雨水排水事業の推進）					
総合計画 重点施策	都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課 排水対策課

事業目的・概要
<p>【事業目的】 藤代小学校付近(新町)で頻繁に発生する道路冠水被害を緩和するため、排水施設を整備するものであるが、流末である櫛木雨水幹線(枝線)が未整備(北浦川改修が未完成)であるため、暫定改修として既設水路(藤代幹線)に接続するものである。</p> <p>【事業概要】 全体計画 L≒260m 雨水排水整備工事</p>

成果指標	単位	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (目標)	R6 (目標)
排水整備率(整備事業費/総事業費) (新町工区)	%	76	100	/	/

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度 詳細設計 ・令和元年度 雨水排水工事 (令和2年度へ繰越) □1300×500 L≒80m・人孔1基 ・令和2年度 雨水排水工事 (令和3年度へ繰越) φ800 L≒24m 立杭工(鋼製ケーシング) N=2箇所 ・令和3年度 家屋事前調査 雨水排水工事 (令和4年度へ繰越) □1300×500 L≒95m U字溝 L≒45m 塩ビ管 φ250 L≒12m 人孔1基 	<p>令和4年度については、令和3年度に発注した雨水排水工事(繰越)を施工し、令和4年5月末に完成した。令和4年度をもって、本事業は完了した。</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

今後の方向性	
事業完了	

事業費(単位:千円)		R3(実績)	R4(実績)	R5(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				令和4年度の事業費は、前年度からの繰越のみのため、減額となっている。
	県支出金				
	地方債	54,700	34,700		
	その他				
	一般財源	3,530	1,868		
事業費計(A)		58,230	36,568		協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	2	3		
	業務時間	1,200	1,200		
	その他職員人件費				
人件費計(B)		3,805	3,800		
トータルコスト(A+B)		62,035	40,368		

令和4年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	公園維持管理事業（遊具及び樹木の点検）						
総合計画 重点施策	都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	水とみどりの課

事業目的・概要
<p>【事業目的】 遊具の破損や枯木の倒木による事故を防止するため。</p> <p>【概要】 遊具及び樹木(公園施設)の点検を実施する。</p>

成果指標	単位	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (目標)	R6 (目標)
遊具の点検箇所数 (3回/箇所)	箇所	163	157	157	157
施設及び樹木の点検実施箇所数 (2回/箇所)	箇所	227	221	221	221

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<p>【目標期限】 令和5年3月末</p> <p>【達成基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門技術者による定期点検(遊具) 1回/年 ・管理者による安全点検(遊具、施設及び樹木)2回/年 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門技術者による定期点検(遊具) 令和4年6月～10月 1回完了 ・管理者による安全点検(遊具、施設及び樹木) 令和4年6月・令和5年1月 2回完了 	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

今後の方向性	
継続	公園の安全・安心な利用を実現するため、今後も継続して定期的な施設点検を実施していく。

事業費(単位:千円)	R3(実績)	R4(実績)	R5(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金				<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は、4年度に比べ、公園遊具定期点検業務委託の入札による契約額が低かったため。
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	2,334	2,805	3,426	
事業費計(A)	2,334	2,805	3,426	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	7	7	7	
	業務時間	560	560	560	
	その他職員人件費	360	360	360	
人件費計(B)	2,136	2,134	2,148		
トータルコスト(A+B)	4,470	4,939	5,574		

令和4年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	緑化推進事業						
総合計画 重点施策	—	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	水とみどりの課

事業目的・概要							
【事業目的】 市民の緑化意識の向上と市域の緑化推進を図る。							
【概要】 取手市緑化推進委員会と連携して、緑の募金による学校緑化、取手ガーデンロード花いっぱい事業等の緑化推進事業を展開する。また、市内の緑育活動の活性化を図るために、緑化ボランティア団体の活動を支援するとともに連携事業を実施する。							

成果指標	単位	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (目標)	R6 (目標)
緑の募金事業の実施数	回	3	4	4	4
取手ガーデンロード花いっぱい事業の実施数	回	2	2	2	2
緑化ボランティア団体との連携事業	団体	10	10	10	10

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
緑の募金事業 4月～3月 取手ガーデンロード花いっぱい事業 6月・11月 緑化ボランティア団体との連携事業 4月～3月	緑の募金事業 3年ぶりに緑化イベントでの街頭募金を実施できたことにより、学校募金・企業募金・職場募金の4事業を実施することができた。集まった募金の交付金で学校緑化事業を実施した。 取手ガーデンロード花いっぱい事業 6月 コスモス種まき 11月 ポピー種まき 計2回を実施し、ボランティアのかたの協力のもと、ガーデンロードにきれいな花を咲かし、河川景観の向上を図ることができた。 緑化ボランティア団体との連携 市内緑化推進団体 計10団体との連携事業を実施した。 (森林インストラクター茨城・環境NPOとりで・緑水会・取手自然友の会・藤代まちづくり協議会・神住フラワーカナル愛好会・岡そば打ち同好会・絆会・小貝川プロジェクト21・緑の会)	A (予定どおり進んでいる)

今後の方向性	
継続	市民の緑化意識向上と市内の緑化推進を図り、緑豊かな生活環境を形成するため、緑化の施策を継続して積極的に行っていく。

事業費(単位:千円)	R3(実績)	R4(実績)	R5(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金			緑化推進委員会への委託料の増減が生じていない。	
	県支出金				
	地方債				
	その他	1,000	1,000		1,000
	一般財源				
事業費計(A)	1,000	1,000	1,000	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	2	2	緑化ボランティア団体との連携により、緑化に対する知識の普及及び意識の高揚に努め、市民の自主的な緑化活動の育成を図る。	
	業務時間	1,860	1,860		1,860
	その他職員人件費				
人件費計(B)	5,898	5,891	5,937		
トータルコスト(A+B)	6,898	6,891	6,937		

令和4年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	小堀の渡し運航事業						
総合計画 重点施策	-	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	水とみどりの課

事業目的・概要
<p>【事業目的】 利根川を挟んだ両岸を一体的自然空間として活用し、観光船としての利用促進を図る。</p> <p>【概要】 観光船としての「小堀の渡し」を市の内外へ情報発信するため、市の観光資源と連携した取り組みを実施し、多くのかたに観光船と取手の魅力ある観光スポットを周知する。</p>

成果指標	単位	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (目標)	R6 (目標)
連携事業数	事業数	2	2	2	2

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
令和4年10月、令和5年2月 ・名所、旧跡等の観光スポットを活用した連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ・小堀の渡しを活用したツアーの催行協力について 利根川近辺のおすすめスポットと利根川サイクリングロードを楽しむ旅行企画会社のサイクリングツアーが10月29日に開催された。当日は臨時便の運航を行うとともに、ツアーのバックアップをし、渡し船と自転車をタイアップすることで、運航事業をPRすることができた。 ・取手ふれあい栈橋でのサケの稚魚放流について 利根川へのサケの稚魚放流が令和5年2月6日に実施された。当日は取手ふれあい栈橋から、柏市内の小学生が育てたサケの稚魚が放流され、その模様がライブ配信により柏市の各小学校に放映された。配信映像により地域資源である利根川の大自然と、渡し船、栈橋、鉄橋などの河川風景をPRすることができた。 	A (予定どおり 進んでいる)

今後の方向性	
継続	小堀の渡しの情報発信をするため、連携事業を継続して実施する。

事業費(単位:千円)	R3(実績)	R4(実績)	R5(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金				令和4年度は原油価格の高騰により、運航に係る燃料費等が上昇したため増額となった。
	県支出金				
	地方債				
	その他	625	554	500	
	一般財源	14,236	14,630	14,586	
事業費計(A)	14,861	15,184	15,086	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	2	2	2	
	業務時間	2,123	2,316	2,200	
	その他職員人件費				
人件費計(B)	6,732	7,335	7,022		
トータルコスト(A+B)	21,593	22,519	22,108		